

科目名	地域・在宅看護概論	対象学年・時期	1年・前期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・15時間
授業概要	<p>ディプロマポリシー3,4に基づく。日本の少子化と超高齢・多死社会におけるの支援体制は、「共助」「公助」に頼ることなく「自助」「互助」に比重が置かれることとなる。病院中心、医療従事者主導の医療の仕組みが見直され、地域で「(看護が)ともに在る」ことを学ぶことが重要視されている。</p> <p>本科目では、「一生を地域で健康に暮らすための支え合い」を考え、地域で暮らす人々を支えるための看護者の役割を学ぶ。地域・在宅看護は、あらゆる年齢・環境・疾患の療養者を対象とする。「暮らし」や対象の暮らしの拠点である「地域」について考え、理解するところから対象の理解に繋げる。また、地域・在宅看護の概念や役割・機能、対象について学び対象に必要な支援を考える力を身につける。</p>		
授業形態	講義、グループワーク		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. その人(対象)が地域で暮らすことの意義を理解することができる 2. 人々の暮らしの拠点としての地域を理解することができる。 3. 地域・在宅看護が推進される社会的背景が理解できる 4. 地域で暮らす人々を支えるための看護者の役割を理解できる。 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回目：ガイダンス、「暮らし」とは① 2回目：「暮らし」とは② 人間と暮らしを構成するもの、暮らしと人々の健康 3回目：地域とは① … 酒田市の地域の特性について調べてみよう 4回目：地域とは② 5回目：地域包括ケアシステム 人々の地域での継続した暮らしを支えるための制度 6回目：地域・在宅看護の対象、変遷と社会的背景 地域における看護活動の場と看護の役割 ① 7回目：地域における看護活動の場と看護の役割 ② 8回目：終講試験 		
使用テキスト・参考書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護論 I 地域・在宅看護の基盤 第6版 医学書院		
事前学修・事後学修 (学習を促進できる学修)	当該箇所をテキストで読み授業に臨んでください。 その他の事前学習は必要時授業中にお伝えします。		
評価基準・評価方法	筆記試験		
備考	自分の身近な物事に興味をもち、「暮らし」や「地域」を見つめてみましょう。 グループワークでは積極的に自分の考えを相手に伝え、相手の考えを聴きましょう。		